



Little League

2023年シーズン
NPO 法人リトルリーグ北関東連盟

大会規則

I	2023年シーズン NPO 法人リトルリーグ北関東連盟大会内規及び運営要項	2～14
	大会要項<1～13>	
II	大会規則	15～44
	大会規則・別表 1 メジャー・マイナー大会規則	15～20
	大会規則・別表 2 インターメディアット大会規則	21～23
	大会規則・別表 3 全日本リトル大会規則	24～30
	大会規則・別表 4 全日本インターメディアット大会規則	31～34
	大会規則・別表 5 M L Bカップ大会規則	35～40
	大会規則・別表 6 ティーボール北関東連盟大会規則	41～42
	大会規則・補足 大会規則の補足	43～44
	添付資料 1 2022年リトル年齢早見表	45
	添付資料 2 変更届用紙	46

世間の情勢やアメリカ本部のルール変更により急遽、変更する場合がございますが、ご了承ください。
変更を行う場合には別途、ご連絡させていただきます。

2023年 1 月作成 競技部

2023年シーズン NPO 法人リトルリーグ北関東連盟大会内規及び運営要項

<大会要項 1>

I 冬季大会メジャー部門『理事長杯』北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：2023年1月15日（日）
- 3) 登録書提出期限：1月29日（日） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：2月5日（日） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：2月19日（日）/23日（祝木）/予備日2月26日（日） *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数/背番号）：下表による。（9名から20名/1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：有（秋季大会メジャー部門 北関東連盟大会：優勝/準優勝）
- 10) 開会式/表彰式&閉会式の有無：無/有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：無
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点/4回_10点/5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 投手規則：リトル年齢13歳_95球/11・12歳_85球/10歳_75球
- 20) 上位大会：有（代表枠：4リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表1、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

H22	⇒誕生年(和暦)
2010年	⇒誕生年(西暦)
13	⇒リトル年齢

凡例：

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24							
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年							
	11	11	11	11	11							
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						
中学1年	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H23	H23	H23
	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2011年	2011年	2011年
	13	13	13	13	13	12						

<大会要項 2>

Ⅱ 冬季大会インターミディエット部門 『サイキョウ・ファーマ旗争奪』 北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 南エリア
- 2) エントリー締切り：：2023年1月15日（日）
- 3) 登録書提出期限：1月29日（日） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：2月5日（日） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：2月19日(日)/23日（祝木） /予備日2月26日(日) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数/背番号）：下表による。（9名から20名/1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式/表彰式&閉会式の有無：無/有（上位4リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7時30分
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：8時30分 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（1時間50分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（7回終了時点または時間制限後、同点の場合、8回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：4回_15点/5回_10点/6回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢13歳_95球/11・12歳_85球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：無
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表2、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：	H22	⇒誕生年(和暦)
	2010年	⇒誕生年(西暦)
	13	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24							
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年							
	11	11	11	11	11							
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						
中学1年	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H23	H23	H23
	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2011年	2011年	2011年
	13	13	13	13	13	12						

<大会要項 3>

Ⅲ インターミディエット部門 J A 共済杯『サンケイスポーツ杯』全日本インターミディエット 北関東連盟大会

※ 登録は 2023 年 1 月 31 日までの入団生に限る

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：2月11日（祝土）
提出書類 下記グループⅠ～Ⅲをセットで提出のこと。
発行日付は 2022 年 2 月 1 日から 2023 年 2 月 1 日までにあるか、
若しくは、その期間に有効であるものでなくてはならない。
グループⅠ：運転免許証若しくはマイナンバーカード
グループⅡ：住民票（保護者と選手の記載）
グループⅢ：公共料金各種請求書（公共料金領収書の例 ガス、電気、上下水道、ゴミ収集など）
注 1）いずれも住所日付、保護者名の記載が必要。ない場合は発行元に再発行請求をしてください。
- 3) 登録書提出期限：2月18日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：2月25日（土） *登録書 1部および選手名簿頁 3部コピー、選手提出一式持参要
- 5) 試合日程：3月5日(日)／12日(日)／3月19日（日）／21日(祝火)
予備日 26日（日）*天候により変更あり。
- 6) 参加資格：次頁表による。但し、登録は 1 月 31 日までの入団生に限る
- 7) チーム連合：認めない。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ 2 試合）で行う。
- 9) シード：有（冬季大会インターミディエット部門『サイキョウ・ファーマ旗争奪』北関東連盟大会：優勝／準優勝）
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有（上位 4 リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7 時 30 分
- 12) 第 1 試合ベンチ入り時間：8 時 *第 2 試合以降、第 1 試合終了時点競技部より指示
- 13) 第 1 試合開始時間：8 時 30 分 第 2 試合以降、第 1 試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（1 時間 50 分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦（トーナメント戦の場合）：有（8 回まで。8 回終了時点、同点の場合、9 回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：4 回_15 点／5 回以降_10 点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢 13 歳_95 球／11・12 歳_85 球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：有（代表枠：1 リーグ／関東大会出場：2 リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表 4、その他 Little League ルールブック

注：リトルリーグ年齢表は次頁

インターメディエイト部門 J A 共済杯『サンケイスポーツ杯』全日本インターメディエイト 北関東連盟大会
リトルリーグ年齢表

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：	H22	⇒誕生年(和暦)
	2010年	⇒誕生年(西暦)
	13	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24							
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年							
	11	11	11	11	11							
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						
中学1年	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H23	H23	H23
	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2011年	2011年	2011年
	13	13	13	13	13	12						

<大会要項 4>

IV 冬季大会ティール部門 北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 南エリア
- 2) エントリー締切り：2月11日（祝土）
- 3) 登録書提出：不要
- 4) 抽選会：2月25日（土）
- 5) 試合日程：3月12日(日)／予備日3月19日(日) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格：3年生以下の男女 ベンチ入りは9名以上
- 7) チーム連合：連合認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時45分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（30分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点または時間制限後、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：なし
- 17) 打順：打順はスターティングメンバー9人に固定するか、控え選手を続けて打たせるかは監督の判断に任せるが途中からの変更は出来ない。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 上位大会：無
- 20) 適用大会規則：大会規則・別表6、その他 Little League ルールブック

<大会要項 5>

V 春季大会マイナー部門『KEIO CUP』北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：3月18日（土）
- 3) 登録書提出期限：3月25日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：4月1日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
*『ミスノ杯春季関東選手権大会』会場にて
- 5) 試合日程：4月9日(日)／16(日)／予備日22(土) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数／背番号）：下表による。（9名から20名／1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：有（2022年度_秋季大会マイナー部門『ゼット杯』北関東連盟大会 優勝・準優勝）
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有（上位4リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（1時間20分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメントの場合)：無（6回終了時点または時間制限後、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点／4回_10点／5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢11歳_85球／9・10歳_75球／但し、小学3年生は50球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：無
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表1、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

H24	⇒誕生年(和暦)
2012年	⇒誕生年(西暦)
11	⇒リトル年齢

凡例：

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学3年	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27	H27
	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2015年	2015年	2015年
	9	9	9	9	9	8						
小学4年	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26
	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2014年	2014年	2014年
	10	10	10	10	10	9						
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	10						

<大会要項 6>

VI 春季大会ティーボール部門 第39回『武蔵コーポレーション杯』

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：4月8日（土）
- 3) 登録書提出：不要
- 4) 抽選会：4月22日（土）
- 5) 試合日程：4月30日(日)／予備日5月4日(祝木) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格：3年生以下の男女 ベンチ入りは9名以上
- 7) チーム連合：連合認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：有（冬季大会ティーボール部門 北関東連盟大会_優勝・準優勝・第3位（2リーグ））
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時45分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（30分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点または時間制限後、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：なし
- 17) 打順：打順はスターティングメンバー9人に固定するか、控え選手を続けて打たせるかは監督の判断に任せるが途中からの変更は出来ない。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 上位大会：有（代表枠：4リーグ）
- 20) 適用大会規則：大会規則・別表6、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表（参考） *小学3年以下

凡例：	H26	⇒誕生年(和暦)
	2014年	⇒誕生年(西暦)
	9	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学1年	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H29	H29	H29
	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2017年	2017年	2017年
	7	7	7	7	7	6						
小学2年	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H28	H28	H28
	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2016年	2016年	2016年
	8	8	8	8	8	7						
小学3年	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27	H27
	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2015年	2015年	2015年
	9	9	9	9	9	8						

Ⅶ メジャー部門文部科学大臣杯 JA 共済トーナメント

第 57 回全日本リトルリーグ選手権 北関東連盟大会

※ 登録は 1 月 31 日までの入団生に限る

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 南エリア
- 2) エントリー締切り：3 月 25 日（土）
提出書類 下記グループⅠ～Ⅲをセットで提出のこと。
発行日付は 2022 年 2 月 1 日から 2023 年 2 月 1 日までにあるか、
若しくは、その期間に有効であるものでなくてはならない。
グループⅠ：運転免許証若しくはマイナンバーカード
グループⅡ：住民票（保護者と選手の記載）
グループⅢ：公共料金各種請求書（公共料金領収書の例 ガス、電気、上下水道、ゴミ収集など）
注 1）いずれも住所日付、保護者名の記載が必要。ない場合は発行元に再発行請求をしてください。
- 3) 登録書提出期限：4 月 1 日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：4 月 8 日（土） *登録書 1 部および選手名簿頁 3 部コピー、提出書類一式持参要
- 5) 試合日程：4 月 23 日(日)/29(祝土) /5 月 4 日（祝木） /4 日(祝金) /予備日 7(日)
他予備日：4 月 30 日（日） /5 月 3 日 /6 日（土） *天候により変更あり。
- 6) 参加資格：下表による。但し、登録は 1 月 31 日までの入団生に限る
- 7) チーム連合：認めない。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3 リーグ総当たり・2 リーグ 2 試合）で行う。
- 9) シード：有（2022 年度冬季大会メジャー部門『理事長杯』：優勝 / 準優勝）
- 10) 開会式 / 表彰式 & 閉会式の有無：無 / 有（上位 4 リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8 時
- 12) 第 1 試合ベンチ入り時間：8 時 30 分 *第 2 試合以降、第 1 試合終了時点競技部より指示
- 13) 第 1 試合開始時間：9 時 第 2 試合以降、第 1 試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：無
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：有（7 回まで。7 回終了時点、同点の場合、8 回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3 回_15 点 / 4 回_10 点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢 12・11 歳_85 球 / 10 歳_75 球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：有（代表：1 リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表 3、その他 Little League ルールブック

2023 年リトルリーグ年齢表

凡例：

H23	⇒誕生年(和暦)
2011年	⇒誕生年(西暦)
12	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学 4 年	H25 2013年	H25 2013年	H25 2013年	H25 2013年	H25 2013年							
	10	10	10	10	10							
小学 5 年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年	H25 2013年	H25 2013年	H25 2013年
	11	11	11	11	11	10						
小学 6 年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年	H24 2012年	H24 2012年	H24 2012年
	12	12	12	12	12	11						
中学 1 年						H22 2010年	H22 2010年	H22 2010年	H22 2010年	H23 2011年	H23 2011年	H23 2011年
						12						

<大会要項 8>

Ⅷ マイナー部門 『AIG プレゼンツ MLB カップ 2023』 北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 南エリア
- 2) エントリー締切り：4月8日（土）
- 3) 登録書提出期限：4月15日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：4月22日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：5月7日(日)/14(日) /予備日21(日) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数/背番号）：下表による。（9名から20名/1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：有（春季大会マイナー部門『KEIO CUP』北関東連盟大会：優勝/準優勝）
- 10) 開会式/表彰式&閉会式の有無：無/有（上位4リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：無
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点/4回_10点/5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢11歳_85球/9・10歳_75球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：有（代表枠：2リーグ/関東選考会出場：4リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表5、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：	H24	⇒誕生年(和暦)
	2012年	⇒誕生年(西暦)
	11	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学4年	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26
	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2014年	2014年	2014年
	10	10	10	10	10	9						
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	10						

<大会要項 9>

**IX 夏季大会メジャー部門 J A 共済杯 2023 全国選抜リトルリーグ野球大会
兼『産経新聞旗争奪』東日本選手権大会北関東連盟大会**

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：5月6日（土）
- 3) 登録書提出期限：5月13日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：5月20日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：6月11日（日）/18日（日） /予備日7月2日（日） *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数/背番号）：下表による。（9名から20名/1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：連盟照査を受けた同連盟内、近隣3リーグ以内
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式/表彰式&閉会式の有無：無/有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：無
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（7回終了時点、同点の場合、8回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点/4回_10点/5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 投手規則：リトル年齢13歳_95球/11・12歳_85球/10歳_75球
- 20) 上位大会：有（全国選抜代表枠：1リーグ/東日本代表枠：2リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表1、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：	H23	⇒誕生日(和暦)
	2011年	⇒誕生日(西暦)
	12	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	10						
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						
中学1年	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H23	H23	H23
	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2011年	2011年	2011年
	13	13	13	13	13	12						

<大会要項 10>

X 秋季大会マイナー部門 『ゼット杯』北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：8月12日（土）
- 3) 登録書提出期限：8月19日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：8月26日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：9月3日(日)／10(日) / 予備日18(祝月) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数／背番号）：下表による。（9名から20名／1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有（上位4リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（1時間20分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点または時間制限後、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点／4回_10点／5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢9・10歳_75球／但し、小学3年生は50球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：有（代表枠：4リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表1、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：	H25	⇒誕生日(和暦)
	2013年	⇒誕生日(西暦)
	10	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学3年	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27	H27
	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2015年	2015年	2015年
	9	9	9	9	9	8						
小学4年	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26
	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2014年	2014年	2014年
	10	10	10	10	10	9						

<大会要項 11>

XI 秋季大会インターミディエット部門 『サイキョウ・ファーマ旗争奪』北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 南エリア
- 2) エントリー締切り：8月12日（土）
- 3) 登録書提出期限：8月19日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：8月26日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：9月17日(日)/23(祝土) /予備日24(日) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数/背番号）：下表による。（9名から20名/1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式/表彰式&閉会式の有無：無/有（上位4リーグ）
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7時30分
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：8時30分 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（1時間50分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（7回終了時点または時間制限後、同点の場合、8回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：4回_15点/5回_10点/6回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 投手規則：リトル年齢11・12歳_85球/10歳_75球
- 19) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 20) 上位大会：無
- 21) 大会規則・別表2、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：

H23	⇒誕生年(和暦)
2011年	⇒誕生年(西暦)
12	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学4年	H25	H25	H25	H25	H25							
	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年							
小学5年	10	10	10	10	10							
	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
小学6年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	10						
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						

<大会要項 12>

XII 秋季大会 ティーボール部門『フタバスポーツ杯』第9回北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：8月12日（土）
- 3) 登録書提出：不要
- 4) 抽選会：8月26日（土）
- 5) 試合日程：9月18日(祝月)／予備日9月23日(祝土) *天候により変更あり。
- 6) 参加資格：2年生以下の男女 ベンチ入りは9名以上
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：7時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時45分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：有（30分で新しいイニングに入らない。）
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点または時間制限後、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：なし
- 17) 打順：打順はスターティングメンバー9人に固定するか、控え選手を続けて打たせるかは監督の判断に任せるが途中からの変更は出来ない。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 上位大会：有（代表枠：4リーグ）
- 20) 適用大会規則：大会規則・別表6、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表（参考） *小学2年以下

凡例：	H26	⇒誕生年(和暦)
	2014年	⇒誕生年(西暦)
	9	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学1年	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H28	H29	H29	H29
	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2016年	2017年	2017年	2017年
	7	7	7	7	7	6						
小学2年	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H28	H28	H28
	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2016年	2016年	2016年
	8	8	8	8	8	7						

<大会要項 13>

XⅢ 秋季大会メジャー部門 北関東連盟大会

- 1) 主管：リトルリーグ埼玉 北エリア
- 2) エントリー締切り：9月2日（土）
- 3) 登録書提出期限：9月9日（土） *担当競技部員へ提出（電子ファイル可）
- 4) 抽選会：9月16日（土） *登録書1部および選手名簿頁3部コピー持参要
- 5) 試合日程：10月1日(日)／8日（日）／予備日10月9日(祝月)天候によ変更あり。
- 6) 参加資格（選手人数／背番号）：下表による。（9名から20名／1番からの連番とする）
- 7) チーム連合：理事長承認により認める。
- 8) 試合方式：エントリー数によりトーナメント戦またはリーグ戦（3リーグ総当たり・2リーグ2試合）で行う。
- 9) シード：無
- 10) 開会式／表彰式&閉会式の有無：無／有
- 11) 集合時間(役員・審判部・競技部・広報部)：8時
- 12) 第1試合ベンチ入り時間：8時30分 *第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 13) 第1試合開始時間：9時 第2試合以降、第1試合終了時点競技部より指示
- 14) 試合時間制限：無
- 15) 延長戦(トーナメント戦の場合)：無（6回終了時点、同点の場合、7回よりタイブレーク方式）
- 16) コールド規定：3回_15点／4回_10点／5回_7点
- 17) 試合終了後：対戦両監督は本部席で登録書添付の『投球数記録&捕手確認シート』チェック・サインのこと。
- 18) 注意事項：新型コロナウイルス感染予防対策は、各リーグで責任をもって十分講じること。
- 19) 投手規則：リトル年齢13歳_95球／11・12歳_85球／10歳_75球
- 20) 上位大会：有（代表枠：2リーグ）
- 21) 適用大会規則：大会規則・別表1、その他 Little League ルールブック

2023年リトルリーグ年齢表

凡例：

H23	⇒誕生日(和暦)
2011年	⇒誕生日(西暦)
12	⇒リトル年齢

誕生月 学年	4月 (4/2~4/30)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 (3/1~4/1)
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	10						
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	11						

(大会規則・別表 1) メジャー・マイナー大会規則

令和 4 年 12 月改定

I 大会規則

2023年リトルリーグ公認競技規則、トーナメント規則およびガイドライン、本大会特別規則並びに公認野球規則を準用する。

II 登録

- メジャー大会選手登録は、リトルリーグ年齢 10 歳・11 歳・12 歳の男女とする。
(4月～8月生まれの 13 歳の選手を認める)
秋季大会は、学年を採用して、小学 5 年・6 年生に限定する。
マイナー大会は、学年を採用して、小学 3 年・4 年・5 年生に限定する。
(秋季大会は、小学 3 年・4 年生に限定する)
連合チームの編成を認める。(1リーグ 8 名以内、構成 3リーグ以内) 選手は 9 名以上 20 名までの連番とする。
- 監督およびコーチ
 - 監督 1 名
 - コーチ 2 名まで
 - 監督、コーチは成人のものに限る。
 - 携帯電話等外部と連絡する事が出来る機器類はベンチへ持ち込んで서는ならない。
- 登録した監督、コーチ、選手のみベンチに入ることができる。

III 服装

- 選手は全員統一した服装を着用し、ユニホームの胸にリーグ名またはチーム名の表示のあるものに限る。
なお、白のアンダーシャツは認めない。
連合リーグは統一することが望ましいが、自リーグのユニホームでもよい。ただし、背番号は「1」からの連番とする。
- 監督・コーチの上着は、白の襟付きシャツ、スラックス（ズボン）は下記のとおりとする。
 - 白、黒、紺、茶、灰、ベージュ各色系を可とする。
 - 華美な色は不可。
 - 全体が単一色であること。(別色のライン等があるものは不可)
 - チノパンは可。
 - ジーンズは不可。
 - ショートパンツは可とする。
ショートパンツの色とショートパンツ着用時の靴下（ハイソックス、短いソックス両方可）の色は、上記「(1) 項」に準ずるものとする。
 - 監督、コーチは同一の服装であること。
 - リトルリーグの指導者として節度ある常識的な服装であること。
 - 靴、ベルトの色は別色でも可とする。
- 監督・コーチの帽子は、選手と同じものまたは白で統一したものを着用する。

IV 用具

1. 捕手は試合および練習中も公認のヘルメット（耳カバー付）、プロテクター（ロングタイプまたはショートタイプも可）、マスク（スロートガードのどあて付）、ファウルカップを着用しなければならない。
2. 非木製バットは、U S A Bat 規格に合致したものでなければならない。（規則 1.10 参照）
3. 瑕疵（かし：キズ・欠点）、変形等があるバットの使用は不可。競技部員、審判員がそれらを確認する。
4. バットリング、マスコットバット、鉄棒、メガホンのベンチ持ち込みを禁止する。
5. 野球用手袋、リストバンドの使用を許可する。ただし、派手なものは好ましくない。なお、投手は使用出来ない。
6. サングラスの使用は指導者、選手が必要なときは大会本部または審判員が確認して許可する。
色の制限は特に定めないが、ミラーグラス（反射するもの）とメガネ枠が白色のものは認めない。
帽子のツバに乘せるのも禁止とする。
7. ヘルメットの顎ひもをきちんと着用することが望ましい。また、フェイスガード付き、Cフラップ付きヘルメットの使用を認める。
8. グラブのひもは、必要以上に長いものは認めない。
9. 投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は白色、灰色以外の1色でなければならない。
10. 出場選手全員に胸部保護パッドの着用を義務付ける。

V 試合の準備

1. ベンチは組合せ番号の若い番号を一塁側とする。
2. 攻守は主将により、試合当日決定する。
3. シートノックは後攻より7分間とするが、場合によってはカットする場合もある。
4. 試合前のノックの際、登録選手が不足の場合3名まで補助係を認める。
5. 試合前のブルペンでの投球練習を監督・コーチが傍らで見ても良い。

VI 試合の運営

1. 延長戦は7回までとし、7回で決着しない場合は8回表以降からタイブレーク制を採用する。
その方法は次のとおりとする。
 - (1) 攻撃側は無死二塁から始める。
 - (2) 打者は7回終了時の継続打順としその回に一番後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
例：5番打者がその回の先頭打者なら4番の打順の選手が2塁走者となる。ルール上適格な代走を走者として出場させることもできる。
 - (3) 投手は7回に登板していた投手が、投手規定に従って引き続き投げる。
【注】マイナー大会は6回制とし延長戦は行わない。同点の場合は7回より同方法にてタイブレーク制を採用する。
2. 全試合、3回15点差、4回10点差、5回7点差によるコールドゲームを採用する。
3. マイナー大会では振り逃げ規則は適用しない。
4. ベースコーチは次の条件を満たしていなければならない。
 - (1) 自チームのユニホームを着た有資格の選手と監督、コーチが務めることができる。
 - (2) 2人の大人のベースコーチが許される。ただし、ベンチに監督またはコーチが他に1人いる場合のみ、監督、コーチが務めることができる。
 - (3) 大人のベースコーチもヘルメット着用が望ましい。その場合、できる限りチームと同じものとする。
 - (4) ベースコーチは自チームの打者、走者のみに指示することができる。
 - (5) ベースコーチは同一イニング中、ボックスの移動はできない。

- (6) コーチスボックスから出て自チーム打者および塁上の走者に指示した場合は攻撃側のタイム数に数える。
- (7) 相手に対しスポーツマンシップに反する言動があった場合、1 回目はベンチに戻す。当該者はその試合中
コーチスボックスに入れない。2 回目は監督が直ちに退場となる。
5. ベンチ内の監督およびコーチは、みだりにベンチを離れることはできない。
6. 攻撃側がタイムをとり、選手に指示する回数は1 イニング 1 回である。
なお、守備側のタイムのとき、攻撃側の監督、コーチが選手に指示する場合は回数に数えない。
ただし、守備側の指示より長い時間は認めない。
7. 監督、コーチが、1 イニングに同一投手のもとへ1 度行くことができるが、2 度目にはその選手は投手から退かなければならない。また1 試合に同一投手のもとへ2 度行くことができるが、3 度目にはその選手は投手から退かなければならない。
監督、コーチが指示する場合は、マウンドで行うこと。この時に捕手および内野手が集合しても良い。監督、コーチおよび選手はスピーディーに行動すること。
8. 試合中に内野手がマウンドに集まることは規制しない。
ただし、試合の流れや頻度に応じて審判員が認めない場合もある。
9. 投手のウォームアップ時に、打者などが打席付近に近づき、タイミングを測る行為を禁止する。
10. 走者やベースコーチなどが捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
もしこのような疑いがあるとき審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意を与え止めさせる。
11. ネット裏または観客席から相手リーグの情報を伝える行為を禁止する。
12. ベースコーチなどが、打者走者（走者）の触塁に合わせて「セーフ」にジェスチャーとコールをする行為を禁止する。
13. 臨時代走
- (1) 打者および走者が、事故等で走者になれない場合、臨時代走を認める。
なお、代走者は投手と捕手を除く打順の一番遠い選手とする。
- (2) 攻撃が終わっても前記の選手が速やかに出場出来ない場合は、選手交代となる。
- (3) 頭部に投球および送球を受けた時には、必ず臨時代走を出すこと。
14. 走者が帰塁する場合を除きヘッドスライディングをした場合はアウトになる。
15. 不正投球が発生した時は走者を進塁させず、投球しない場合もボールを宣告して投球数に加算する。
16. 試合開始、終了の挨拶の時に監督は選手と一緒に整列する。コーチはベンチ前に整列する。

VII 監督・コーチの退場

1. 次の場合、大会本部および審判員は監督、コーチ、選手を退場させる。
- (1) 自軍のベンチおよび応援席の中から、相手リーグおよび審判員に対し暴力、暴言を吐いた場合、監督および当該者を退場させる。
- (2) 審判員の判定および指示に従わない場合、監督および当該者を退場させる。
- (3) VIの 10、11 で、同様の行為を再度審判員が見つけた時は
- ① 攻撃側監督と当該者はその試合から退場となる。
 - ② 打者は安打、守備側失策等で塁へ出た場合は打撃を取り消し、打ち直しとする。
 - ③ 打者が打撃を行いアウトになった場合は、アウトを有効とする。
- この時に走者が進塁した場合（犠打等）は打撃前の投手が投球当時の占有塁へ全ての走者を戻す。

VIII 降雨、日没、時間制限等で試合続行不能となった時

1. 正式試合が成立する前に続行不能となった場合は、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。
この場合全ての記録は有効となる。
2. 試合成立（4回完了または4回表完了で後攻チームがリードしている、あるいは同点）後に続行不能となった場合、勝ちが決められる場合は試合終了とする。
3. 試合成立後に続行不能となったが、同点で勝ちが決められない場合は、サスペンデッドゲームとする。
4. 試合成立後にインングの途中で続行不能となり、勝ちチームが決められる場合でも、先攻チームがその表の攻撃で同点とするかリードしており、後攻チームの攻撃が完了していない場合や後攻チームがリードを奪うことができないうちに中止となった場合は、当該試合は再開しなければならない。
5. サスペンデッドゲームとなり、その翌日に試合が再開された場合、中断時点で投手であり中断までに20球以下の投球数の投手は、続きの試合においてその投手の投球数はゼロからカウントする。
6. 中断までの投球数が21～40球の間であった場合、続きの試合においてその投手の投球数は中断された時点の投球数からカウントする。
7. 41球以上投げた投手は、規定の休息日が必要となる。

IX 特記事項

1. 「全員出場義務の規則」と「スペシャルピンチランナー」は、採用しない。
2. 投手の規則

- (1) 降板した投手はその試合では投手に戻れない。
- (2) 投手は1日に投球できる投球数は下記とする。

リトル年齢区分	13歳選手	11-12歳選手	9-10歳選手	8歳選手
最大投球数	95球	85球	75球	50球

- (3) 投手が打者と対戦中に投球制限に達した場合は、その打者が完了するか、または打席中に攻守交代となるまで続投できる。
- (4) 選手は1日に2試合以上投手を務めることはできない。
- (5) 休息日

1日の投球数	66球以上	51～65球	36～50球	21～35球	20球以下
休息日	4日	3日	2日	1日	不要

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での投球数が対象となる。

注：いかなる状況下でも、投手は3日間連続して投球してはならない。

- (6) 投手が41球以上の投球をした場合、その日は捕手を務めてはならない。

注：投手が打者に対しての間に、投球数が40球に到達した場合、投手は以下のいずれかに至るまで投げ続けることができ、その日その後捕手としてプレーできる資格を有する。

- a. その打者が出塁する
- b. その打者がアウトになる
- c. 第3アウトが成立し、そのインングが終了する
- d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

投手は次の打者へ投球する前に降板するか試合が終了すれば、その投手はその後捕手としてプレーすることができる。

- (7) 試合で4インング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。

注：4 イニングはアウト数（12）ではなく、守備についたイニング数とする。

また4 イニングは1 試合での数であり、2 試合行った場合は合計イニング数ではなく、それぞれの試合でのイニング数とする。

(8) 捕手を3 イニング（以下も含む）務めた選手が投手に交代し、同日2 1 球以上投げた場合、その日は再度捕手に交代してはならない。

例外：投手が打者と対戦している時に投球制限数の2 0 球に到達した場合、以下の条件で投手は投球を続け、その後捕手への交代が可能である。

- a. その打者が出塁する
- b. その打者がアウトになる
- c. 第3 アウトが成立し、そのイニングが終了する
- d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

3. 申告敬遠

次の場合に、打者は走者となり、アウトになることなく安全に一塁に進める権利が与えられる。

（ただし、打者が一塁に進んで、それに触れることが条件となる）

1) 審判員が“四球”を宣告した場合

2) 守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を選択することの通知は、打者がバッタースボックスに入る前でもバッタースボックスに入っている時でも構わない。

選手は、試合中に1 回だけ、申告敬遠で出塁することができる。

注1：その通知は守備側チームの監督からなされなければならない。監督は“タイム”をかけ、タイムが認められたのちに打者に四球を与える旨を球審に伝えなければならない。

注2：ボールデッドとなり、塁上の走者は打者走者の四球により押し出される場合を除き進塁できない。監督が申告敬遠を通知した時の打者が申告敬遠を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

× スピードアップ

1. 投手はボールを受けたら速やかに投手板に付いて捕手のサインを受ける。
2. 捕手は受け取ったボールを速やかに投手に返球して、投手にサインを送る。
3. 捕手はホームプレートより前に出ないで野手に声をかける。
4. 内野手はボール回しを定位置で行う。
5. 内野手は外野手からのボールを定位置から投手に送球する。
6. 打者は打者席を外さずにベンチのサインを見る。
7. ベンチからのサインは短くする。
8. 守備につくとき、ベンチに戻るときは必ず走る。
9. 審判員はスピーディーな試合を常に心がける。

×I 補貝リ

1. ベンチ内のプレーについて
 - (1) 常設の正規の球場は競技規則通りである。
 - (2) 仮設のベンチは危険性があるので、ボールデッドとする。
2. 選手からのハーフスイングのリクエストを受ける。
3. 全選手がファウルラインを越えた時に、アピール権は消滅する。
4. 飛球をデッドライン、ホームランライン内で完全捕球したと審判員が認めた場合、選手が捕球後場外に出てもアウト

である。なお、野手がボールデッド地域に倒れ込んだ場合は、ボールデッドとなり、走者に1個の進塁を認める。
野手がボールデッド地域に踏み込んで倒れなかった場合はボールインプレーとなる。

5. ネクストバッタースボックスは作らない。次打者はベンチ出入口付近に待機すること。
6. 監督・コーチがグラウンドに入るときは、コートを脱ぐこと。
7. ホームランを打った選手をたたえるときは、派手にしないこと。
8. 選手はユニホームをきちんと着用すること。
9. グラウンド（ベンチを含む）内は禁煙である。
10. メガホン等による指示、鳴り物の応援は禁止する。
11. 携帯電話の持ち込み、コーチボックスの選手のコールドスプレー持参を禁止する。
12. 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめておかなければならない。（例外：トーナメント競技規則 3.試合規定参照）

ペナルティー：打者が例外状態にない場合にバッタースボックスを出た場合、審判員は打者に警告を与える。警告後に再度バッタースボックスを出た場合、審判員はストライクをコールする。一人の打者に何度でもこのコールはなされる。投球数にはカウントしない。ボールデッドとなるが、走者は進塁しない。

注：ストライクのコールが3ストライク目でない限り、打者はバッタースボックスに戻り新しいカウントから打撃を継続する。

(大会規則・別表 2) インターミディエット大会規則

令和 4 年 12 月改定

I 大会規則

2023年リトルリーグ公認競技規則、トーナメント規則およびガイドライン、本大会特別規則並びに公認野球規則を準用する。

II 登録

1. 選手登録は、リトルリーグ年齢 11 歳・12 歳・13 歳の男女とする。
連合チームの編成を認める。(1リーグ 8 名以内、構成 3リーグ以内)
選手は 9 名以上 20 名までの連番とする。
2. 監督およびコーチ
 - (1) 監督 1 名
 - (2) コーチ 2 名まで
 - (3) 監督、コーチは成人のものに限る。
 - (4) 携帯電話等外部と連絡する事が出来る機器類はベンチへ持ち込んではいならない。
3. 登録した監督、コーチ、選手のみベンチに入ることができる。

III 服装

1. 選手は全員統一した服装を着用し、ユニホームの胸にリーグ名またはチーム名の表示のあるものに限る。
なお、白のアンダーシャツは認めない。
連合リーグは統一することが望ましいが、自リーグのユニホームでもよい。ただし、背番号は「1」からの連番とする。
2. 監督・コーチの服装は通常のユニホーム、帽子を着用して良いが、金属のスパイクは使用できない。成人のベースコーチのヘルメット着用は任意とする。

IV 用具

1. 捕手は試合および練習中も公認のヘルメット（耳カバー付）、プロテクター（ロングタイプまたはショートタイプも可）、マスク、スロートガードおよびファウルカップを着用する。
2. 打者用ヘルメット（7 個）はリトルリーグ（メジャー）部門と同一のものを使用できるが、顎ひものないヘルメットも使用可とする。また、フェイスガード付き、Cフラップ付きヘルメットの使用を認める。
3. 非木製バットは、USA Bat 規格に合致したものでなければならない。また、BBCOR 規格に準拠したバットを使用できる。（規則 1.10 参照）
4. 瑕疵（かし：キズ・欠点）、変形等があるバットの使用は不可。競技部員、審判員がそれらを確認する。
5. 金属製スパイクの使用は可とする。
6. サングラスの使用は指導者、選手が必要なときは大会本部または審判員が確認して許可する。
色の制限は特に定めないが、ミラーグラス（反射するもの）とメガネ枠が白色のものは認めない。
帽子のツバに乘せるのも禁止とする。
7. 投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は白色、灰色以外の 1 色でなければならない。
8. 胸部保護パッドの着用を義務付ける。

V 試合の準備

1. ベンチは組合せ番号の若い番号を一塁側とする。
2. 攻守は主将により、試合当日決定する。
3. シートノックは後攻より7分間とするが、場合によってはカットする場合もある。
4. 試合前のノックの際、登録選手が不足の場合3名まで補助係を認める。
5. 試合前のブルペンでの投球練習を監督・コーチが傍らで見ても良い。

VI 試合の運営

1. 延長戦は8回までとし、8回で決着しない場合は9回表以降からタイブレーク制を採用する。その方法は次の通りとする。
 - (1) 攻撃側は無死二塁から始める。
 - (2) 打者は8回終了時の継続打者としその回に一番後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
 - (3) 投手は8回に登板していた投手が、投手規定に従って引き続き投げる。
2. 全試合、4回15点差、5回10点差、6回7点差によるコールドゲームを採用する。
3. 走者のヘッドスライディングは許される。
4. ボークは適用される。
 - (1) 投手板に触れている投手が、一塁へ送球するまねだけして、実際に送球しなかった場合。
 - (2) 投球が打者に当たった場合、反則投球ではなく打者は一塁へ進塁することができる。
 - (3) ボークが宣告された際に投球がなされた場合、打者がその投球に対しプレーしたかどうかにかかわらず、投球数はカウントされる。ただし、ピックオフを意図したケースで宣告されたボーク、あるいは投手が実際に投球しなかった場合は、投球数にはカウントしない。
5. ネクストバッタースボックスは使用できる。
(ただし、グラウンドの広さ次第でネクストバッタースボックスを設置しない場合もある)
6. ベースコーチは選手あるいは監督・コーチが務めることができる。両方のベースコーチを監督・コーチとして良い。
ただし、ダグアウトには監督・コーチが最低1人はいなければならない。
7. 監督またはコーチが投手のもとへ行ける回数(リトルリーグ(メジャー)部門と同一)である。
8. 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめておかなければならない。(例外：トーナメント規則 3.試合規定参照)
ペナルティー：打者が例外状態にない場合にバッタースボックスを出た場合、審判員は打者に警告を与える。
警告後に再度バッタースボックスを出た場合、審判員はストライクをコールする。
一人の打者に何度でもこのコールはなされる。投球数にはカウントしない。ボールデッドとはならない。
注：ストライクコールが3ストライク目でない限り、打者はバッタースボックスに戻り新しいカウントから打撃を継続する。
9. 投手の規則
 - (1) 投手は、一度降板し他のポジションに移っても、控え選手と交代していなければ、その試合で一度だけ再登板できる。
 - (2) 投手は1日に投球できる投球数は下記とする。

リトル年齢区分	13歳選手	11-12歳選手
最大投球数	95球	85球
 - (3) 投手が打者と対戦中に投球制限に達した場合は、その打者が完了するか、または打席中に攻守交代となるまで続投できる。
 - (4) 選手は1日に2試合以上投手を務めることはできない。

(5) 休息日

1 日の投球数	66 球以上	51～65 球	36～50 球	21～35 球	20 球以下
休息日	4 日	3 日	2 日	1 日	不要

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での 1 球目の投球数が基準となる。

注：いかなる状況下でも、投手は 3 日間連続して投球してはならない。

10. 「全員出場の規則」と「スペシャルピンチランナー」は、採用しない。

11. 申告敬遠

次の場合に、打者は走者となり、アウトになることなく安全に一塁に進める権利が与えられる。

(ただし、打者が一塁に進んで、それに触れることが条件となる)

1) 審判員が“四球”を宣告した場合

2) 守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を選択することの通知は、打者がバッタースボックスに入る前でもバッタースボックスに入っている時でも構わない。

選手は、試合中に 1 回だけ、申告敬遠で出塁することができる。

注 1：その通知は守備側チームの監督からなされなければならない。監督は“タイム”をかけ、タイムが認められたのちに打者に四球を与える旨を球審に伝えなければならない。

注 2：ボールデッドとなり、塁上の走者は打者走者の四球により押し出される場合を除き進塁できない。監督が申告敬遠を通知した時の打者が申告敬遠を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

VII 降雨、日没、時間制限等で試合続行不能となった時

1. 正式試合が成立する前に続行不能となった場合は、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。
この場合全ての記録は有効となる。
2. 試合成立（5 回完了または 5 回表完了で後攻チームがリードしている、あるいは同点）後に続行不能となった場合、勝ちが決められる場合は試合終了とする。
3. 試合成立後に続行不能となったが、同点で勝ちが決められない場合は、サスペンデッドゲームとする。
4. 試合成立後にイニングの途中で続行不能となり、勝ちチームが決められる場合でも、先攻チームがその表の攻撃で同点とするかリードしており、後攻チームの攻撃が完了していない場合や後攻チームがリードを奪うことができないうちに中止となった場合は、当該試合は再開しなければならない。
5. サスペンデッドゲームとなり、その翌日に試合が再開された場合、中断時点で投手であり中断までに 20 球以下の投球数の投手は、続きの試合においてその投手の投球数はゼロからカウントする。
6. 中断までの投球数が 21 ～ 40 球の間であった場合、続きの試合においてその投手の投球数は中断された時点の投球数からカウントする。
7. 41 球以上投げた投手は、規定の休息日が必要となる。

(大会規則・別表3) 文部科学大臣杯 J A 共済トーナメント
第 57 回全日本リトルリーグ野球選手権大会
北関東連盟大会規則

2022年12月

I 大会規則

2023年リトルリーグ公認規定競技規則、トーナメント規則及びガイドライン、本大会特別規則並びに公認野球規則を準用する。

II 登録及び義務

- 1 選手登録
 - 1) 年齢 リトルリーグ年齢10歳・11歳・12歳の選手
 - 2) 人数 14名以内
- 2 監督およびコーチ
 - 1) 監督 1名
 - 2) コーチ 2名まで
 - 3) 監督、コーチは成人のものに限る。
 - 4) 携帯電話等外部と連絡する事が出来る機器類はベンチへ持ち込んで서는ならない。
- 3 登録した監督、コーチ、選手のみベンチに入ることができる。
- 4 登録選手の義務
登録選手は全員試合に出場し、規則IXに明記されている特記事項全員出場の義務を果たさなければならない。

III 服装

- 1 選手は全員統一した服装を着用し、ユニホームの胸にリーグ名の表示のあるものに限る。
なお、白色のアンダーシャツは認められない。
- 2 監督、コーチの上着は襟付きの白色、スラックス（ズボン）は下記のとおりとする。
 - 1) 白、黒、紺、茶、灰、ベージュの各色系を可とする。
 - 2) 華やかな色は不可。
 - 3) 全体が単一色であること。（別色のライン等があるものは不可）
 - 4) チノパンは可。
 - 5) ジーンズは不可。
 - 6) ショートパンツは可とする。
ショートパンツの色とショートパンツ着用時の靴下（ハイソックス、短いソックス両方可）の色は、上記「1）項」に準ずるものとする。
 - 7) 監督、コーチは同一の服装であること。
 - 8) リトルリーグの指導者として節度ある常識的な服装であること。
 - 9) 靴、ベルトの色は別色でも可とする。

- 3 監督、コーチの帽子は選手と同じものまたは白で統一したものを着用する。

IV 用具

- 1 捕手は試合及び練習中も公認のヘルメット（耳カバー付）、プロテクター（ロングタイプまたはショートタイプも可）、マスク、スロートガード、及びカップを着用する。
- 2 非木製バットは、U S A B a t 規格に合致したものでなければならない。（規則 1.10 参照）
- 3 瑕疵、変形等があるバットの使用は不可。競技部員、審判員がそれらを確認する。
- 4 バットリング、マスコットバット、鉄棒、メガホンのベンチ持ち込みを禁止する。
- 5 野球用手袋、リストバンドの使用を許可する。ただし、投手は除く。
- 6 サングラスの使用は指導者、選手が必要なときは大会本部または審判員が確認して許可する。色の制限は特に定めないが、ミラーグラス（反射するもの）とメガネ枠が白色のものは認めない。帽子のツバに乘せるのも禁止とする。
- 7 ヘルメットの顎ひもを着用することが望ましい。また、フェイスガード付き、Cフラップ付きヘルメットの使用を認める。
- 8 グラブのひもは必要以上に長いものは認めない。
- 9 投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は白色、灰色以外の1色でなければならない。
- 10 出場選手全員に胸部保護パッドの着用を義務付ける。

V 試合の準備

- 1 ベンチは組み合わせ抽選の若い番号を一塁側とする。
- 2 攻守は主将により、試合当日決定する。
- 3 シートノックは後攻より7分間とするが、都合でカットする場合もある。
- 4 シートノック時に限り背番号なしのユニホームで3人まで自チームの補助係として認める。
- 5 試合前のブルペンでの投球練習を監督及びコーチが傍らで見ているが良い。

VI 試合の運営

- 1 延長戦は7回までとし、7回で決着しない場合は8回表以降からタイブレーク制を採用する。その方法は次の通りとする。
 - 1) 攻撃は無死二塁から始める。
 - 2) 打者は7回終了時の継続打順としその回に一番後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
例：5番打者がその回先頭打者なら4番の打順の選手が2塁走者となる。ルール上適格な代走やスペシャルピンチランナーを走者として出場させることもできる。
 - 3) 投手は7回に登板していた投手が投球規定に従って引き続き投げる。
- 2 全試合、3回15点差または4回以降10点差によるコールドゲームを採用する。
- 3 ベースコーチは次の条件を満たしていなければならない。
 - 1) 自チームのユニホームを着た有資格の選手と監督、コーチが務めることができる。
 - 2) 2人の大人のベースコーチが許される。ただし、ベンチに監督またはコーチが他に1人いる場合のみ、監督、コーチが務めることができる。
 - 3) 大人のベースコーチもヘルメット着用が望ましい。その場合、できる限りチームと同じものとする。

- 4) ベースコーチは自チームの打者、走者のみに指示することができる。
- 5) ベースコーチは同一イニング中、ボックスの移動はできない。
- 6) コーチボックスから出て自チーム打者及び塁上の走者に指示した場合は、攻撃側のタイムの数に数える。
- 7) 相手に対しスポーツマンシップに反する言動があった場合、1 回目はベンチに戻す。当該者はその試合中コーチボックスに入れず。2 回目は監督が直ちに退場となる。
- 6 ベンチ内の監督及びコーチはみだりにベンチを離れることはできない。
- 7 攻撃側がタイムをとり、選手に指示する回数は 1 イニングに 1 回である。なお、守備側のタイムのとき、攻撃側の監督およびコーチが選手に指示する場合は回数に数えない。ただし、守備側の指示より長い時間は認めない。
- 8 監督、コーチが、1 イニングに同一投手のもとへ 1 度行くことができるが、2 度目にはその選手は投手から退かなければならない。
また 1 試合に同一投手のもとへ 2 度行くことができるが、3 度目にはその選手は投手から退かなければならない。
監督、コーチが投手に指示する場合は、マウンドで行うこと。この時に捕手および内野手が集合しても良い。
監督、コーチ及び選手はスピーディーに行動すること。
- 9 試合中に内野手がマウンドに集まることは規制しない。
ただし、試合の流れや頻度に応じて審判員が認めない場合もある。
- 10 投手のウォームアップ時に、打者などが打席に近づき、タイミングを測る行為を禁止する。
- 11 走者やベースコーチなどが捕手のサインを見て、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
もし、このような疑いがあるとき、審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意を与え、止めさせる。
- 12 ネット裏または観覧席から相手リーグの情報を伝える行為を禁止する。
- 13 ベースコーチなどが、打者走者（走者）の触塁に合わせて「セーフ」のゼスチャーとコールをする行為を禁止する。
- 14 臨時代走
 - 1) 打者及び走者が事故等で走者になれない場合、臨時代走を認める。
なお、臨時代走は投手と捕手を除く打順の遠い選手とする。
 - 2) 攻撃が終わっても前記の選手が速やかに出場できない場合は、選手交代となる。
 - 3) 頭部に投球及び送球を受けた時には、必ず臨時代走を出す。
- 15 走者がヘッドスライディングをした場合は、アウトになる。
- 16 不正投球が発生した時は走者を進塁させず、投球しない場合もボールを宣告して投球数に加算する。
- 17 試合開始、終了の挨拶の時に監督は選手と一緒に整列する。コーチはベンチ前に整列する。

VII 監督、コーチ、選手の退場

- 1 次の場合、大会本部及び審判員は監督、コーチ、選手を退場させる。
 - 1) 自軍のベンチ及び応援席の中から、相手リーグ及び審判員に対し暴力及び暴言を吐いた場合、監督及び当該者を退場させる。
 - 2) 審判員の判定及び指示に従わなかった場合、監督及び当該者を退場させる。
 - 3) VIの9、10で、同様の行為を再度審判員が見つけた時は
 - ① 攻撃側監督と当該者はその試合から退場となる。
 - ② 打者は安打、守備側失策等で塁へ出た場合は打撃を取り消し、打ち直しとする。
 - ③ 打者が打撃を行いアウトになった場合は、アウトを有効とする。
この時に走者が進塁した場合（犠打等）は打撃前の投手が投球当時の占有塁へ全ての走者を戻す。

Ⅷ 降雨、日没、時間制限等で試合続行不能となった時

- 1 正式試合が成立する前に続行不能となった場合は、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。
この場合全ての記録は有効となる。
- 2 試合成立（4回完了、または4回表完了で後攻チームがリードしている、あるいは同点）後に続行不能となった場合、勝ちが決められる場合は試合終了とする。
- 3 試合成立後に続行不能となったが同点で勝ちが決められない場合はサスペンデッドゲームとする。
- 4 試合成立後にインングの途中で続行不能となり、勝ちチームが決められる場合でも先攻チームがその表の攻撃で同点とするかリードしており、後攻チームの攻撃が完了していない場合や後攻チームがリードを奪うことができないうちに中止となった場合は、当該試合は再開しなければならない。
(注) サスペンデッドゲームはすでに終了したインング数に関係なく、正確に一時停止された状況から試合を再開しなければならない。
- 5 サスペンデッドゲームとなり、その翌日に試合が再開された場合、中断時点で投手であり中断までに20球以下の投球数の投手は、続きの試合においてその投手の投球数はゼロからカウントする。
- 6 中断までの投球数が21～40球の間であった場合、続きの試合においてその投手の投球数は中断された時点の投球数からカウントする。
- 7 41球以上投げた投手は規定の休息日が必要となる。

Ⅸ 特記事項

2「全員出場義務の規則」

- 1) 試合当日ベンチ入りした選手は全員試合に出場しなければならない。
 - ① 13名以上の選手が試合に参加している場合、当日の名簿上の全選手が、攻撃において少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
 - ② 12名以下の選手で試合に参加している場合は当日の名簿上の全選手が、守備において最低6つの連続したアウトと攻撃において少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
- 2) 走者に対する全員出場義務を満たす前に交代した選手は、不適格な交代を行った選手とみなされる。
(但し、事故等で臨時代走が起用された場合を除く)
攻撃において最低で1打席とは、選手がノーカウントから打席に立ち、凡退するか、打者走者としてアウトになるか、出塁した場合は、得点するか、そのインングまたは試合が終了することをさす。
- 3) 本規則に違反した場合、監督は退場となり、残りの試合からも解任され、交代もできない。
(トーナメント競技規則9. 参照 = 2021年主な変更)に注意)
- 4) 負傷して退場した選手は出場条件を満たさなくても良い。
- 5) 選手の病気、負傷、退場で9人の選手を揃えられなくなった場合は、控え選手の中から交代選手を指名する。ただし、その人選は相手チームの監督が行うものとする。退場になった選手はこの再出場の対象とはできない。
- 6) 投手が全員出場義務を完了しており、打者の時に交代選手が出場した場合、実際に降板したのであれば一度に限り投手として再出場できる。チームが試合開始時に13選手以上がベンチ入りし、先行であった場合は、ラインアップ上の先発投手は打者と対戦しないまま交代しても、その裏に先頭打者と対戦を終了することで規則3.03(3)項には抵触しない。投手に関する他の規則は有効である。
- 7) すべてのコールドゲームに全員出場義務は適用しない。

- 8) 先発の選手は全員出場義務を果たしていなくても交代できる。交代で初めて試合に出場した選手は、全員出場義務を完了するまで交代できない。

3「投球規定」

- 1) 降板した投手はその試合では投手に戻れない。
- 2) 投球数を制限する。
- 3) 年齢別投球数 11歳～12歳は1日85球までとする。

例外：次に該当する場合は投球制限に達しても投げ続けてよい。

- a. その打者が出塁する
- b. その打者がアウトになる
- c. 第3アウトが成立し、そのイニングが終了する
- d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

4) 休息日

必要な休息日は次の通り。

- ・1日に66球以上の投球をした場合、4日間の休息が必要
- ・1日に51～65球の投球をした場合、3日間の休息が必要
- ・1日に36～50球の投球をした場合、2日間の休息が必要
- ・1日に21～35球の投球をした場合、1日間の休息が必要
- ・1日に1～20球の投球をした場合、休息日は必要ない

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での投球数が対象となる。

例) 20球目で次打者を迎えた投手は、その打者が「投球規定」3)の例外で、完了して交代した場合、記録上はその投手の投球数は20球以内とカウントされ休息日は必要がない。

注：いかなる状況下でも、投手は3日間連続して投球してはならない。

- 5) 選手は1日に2試合以上の投球はできない。

- 6) 投手が41球以上の投球をした場合、その日は捕手を務めてはならない。

注：投手が打者に対しての間に、投球数が40球に到達した場合、投手は以下のいずれかに至るまで投げ続けることができ、その日その後捕手としてプレーできる資格を有する。

- a. その打者が出塁する
- b. その打者がアウトになる
- c. 第3アウトが成立し、そのイニングが終了する
- d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

投手は次の打者へ投球する前に降板するか試合が終了すれば、その投手はその後捕手としてプレーすることができる。

- 7) 試合で4イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。

注：4イニングはアウト数（12）ではなく、守備についたイニング数とする。

また4イニングは1試合での数であり、2試合行った場合は合計イニング数ではなく、それぞれの試合でのイニング数とする。

- 8) 捕手を3イニング（以下も含む）務めた選手が投手に交代し、同日21球以上投げた場合、その日は再度捕手に交代してはならない。

例外：投手が打者と対戦している時に投球制限数の20球に到達した場合、以下の条件で投手は

投球を続け、その後捕手への交代が可能である。

- a. その打者が出塁する
- b. その打者がアウトになる
- c. 第3アウトが成立し、そのイニングが終了する
- d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

4「申告敬遠」

次の場合に、打者は走者となり、アウトになることなく安全に一塁に進める権利が与えられる。

(ただし、打者が一塁に進んで、それに触れることが条件となる)

- 1) 審判員が“四球”を宣告した場合
- 2) 守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を選択することの通知は、打者がバッタースボックスに入る前でもバッタースボックスに入っている時でも構わない。

選手は、試合中に1回だけ、申告敬遠で出塁することができる。

注1：その通知は守備側チームの監督からなされなければならない。監督は“タイム”をかけ、タイムが認められたのちに打者に四球を与える旨を球審に伝えなければならない。

注2：ボールデッドとなり、塁上の走者は打者走者の四球により押し出される場合を除き進塁できない。監督が申告敬遠を通知した時の打者が申告敬遠を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

5「スペシャルピンチランナー」

1) スペシャルピンチランナーは1イニングに1回、1試合に2回に限り使用できる。

2) 出塁した選手は1試合に1回のみスペシャルピンチランナーと交代できる。

(例：初めに3番打者が四球で出塁し、スペシャルピンチランナーと交代した。

3回にも四球で出塁したが、初めに1度交代しているため、その試合中はスペシャルピンチランナーとの交代はできない)

3) スペシャルピンチランナーになれるのは、その時点で打順に入っていない選手である。

(例：1番打者として先発出場したA選手が3回に代打を送られ交代した。

この時点でA選手は打撃順から外れたためスペシャルピンチランナーの資格を持つことになる。しかし、その後A選手がリ・エントリーして打撃順に復帰した場合は、スペシャルピンチランナーとなる資格を喪失する。

しかしながら、その選手がさらに他の選手と交代した場合や、その他の打撃順に入っていない選手は再度スペシャルピンチランナーに起用することができる。)

X スピードアップ

- 1 投手はボールを受けたら速やかに投手板に付いて捕手のサインを受ける。
- 2 捕手は受けたボールを速やかに投手に返球して、投手にサインを送る。
- 3 捕手はホームプレートより前に出ないで野手に声をかける。
- 4 内野手はボール回しを定位置で行う。
- 5 内野手は外野手からのボールを定位置から投手に送球する。
- 6 打者は打者席を外さずにベンチのサインを見る。
- 7 ベンチからのサインは短くする。

- 8 守備につくとき、ベンチに戻るときは必ず走ること。
- 9 審判員はスピーディーな試合を常に心がける。

XI 補則

- 1 ベンチ内のプレーについて
 - 1) 常設の正規の球場は競技規則通りである。
 - 2) 仮設のベンチは危険性があるのでボールデッドとする。
- 2 選手からのーフスイングのリクエストを受ける。
- 3 全野手がファウルラインを超えた時にアピール権は消滅する。
- 4 飛球をデッドライン、ホームランライン内で完全捕球したと審判員が認めた場合、選手が捕球後場外に出てもアウトである。なお、野手がボールデッド地域に倒れ込んだ場合は、ボールデッドとなり、走者に1個の進塁を認める。野手がボールデッド地域に踏み込んでも倒れなかった場合はボールインプレーとなる。
- 5 ネクストバッタースボックスは作らない。次打者はベンチの出入り口付近に待機すること。
- 6 監督、コーチがグラウンドに入るときはコートを脱ぐこと。
- 7 ホームランを打った選手をたたえるときは、派手にしないこと。
- 8 選手はユニホームをきちんと着用すること。
- 9 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめておかなければならない。(例外：トーナメント規則 3.試合規定参照)

ペナルティー：打者が例外状態にない場合にバッタースボックスを出た場合、審判員は打者に警告を与える。
警告後に再度バッタースボックスを出た場合、審判員はストライクをコールする。一人の打者に何度でもこのコールはなされる。投球数にはカウントしない。ボールデッドとなるが、走者は進塁しない。

注：ストライクのコールが3ストライク目でない限り、打者はバッタースボックスに戻り新しいカウントから打撃を継続する。

**(大会規則・別表4) J A 共済杯第 11 回インターミディエット
全日本リトルリーグ野球選手権大会
北関東連盟大会規則**

2022年12月

I 大会規則

2023年リトルリーグ公認規定競技規則（インターミディエット部門）、トーナメント規則及びガイドライン、本大会特別規則並びに公認野球規則を準用する。

II 登録及び義務

- 1 選手登録
 - 1) 年齢 リトルリーグ年齢 11歳・12歳・13歳の選手
 - 2) 人数 14名以内
- 2 監督およびコーチ
 - 1) 監督 1名
 - 2) コーチ 2名まで
 - 3) 監督、コーチは成人のものに限る。
 - 4) 携帯電話等外部と連絡する事が出来る機器類はベンチへ持ち込んで서는ならない。
- 3 登録した監督、コーチ、選手のみベンチに入ることができる。
- 4 登録選手の義務
登録選手は全員試合に出場し、規則VIに明記されている特記事項全員出場の義務を果たさなければならない。

III 服装

- 1 選手は全員統一した服装を着用し、ユニホームの胸にリーグ名の表示のあるものに限る。
 - ① なお、白色のアンダーシャツは認められない。
 - ② 連合チームは統一することが望ましいが、自リーグのユニホームでもよい。ただし、背番号は「1」からの連番とする。
- 2 監督・コーチの服装は通常のユニホーム、帽子を着用して良いが、金属のスパイクは使用できない。成人のベースコーチのヘルメット着用は任意とする。（ヘルメットには J A 共済シールを貼付する）

IV 用具

- 1 捕手用具はリトルリーグ（メジャー）部門と同一のものを使用できる。捕手は、試合及び練習中も公認のヘルメット（耳カバー付）、プロテクター（ロングタイプまたはショートタイプも可）、マスク、スロートガード、及びカップを着用する。
- 2 打者用ヘルメットは（7個）はリトルリーグ（メジャー）部門と同一のものを使用できるが、顎ひものないヘルメットも使用可とする。
- 3 非木製バットは、U S A B a t 規格に合致したものでなければならない。また、B B C O R 規格に準拠したバットを使用できる。（規則 1.10 参照）

- 4 瑕疵、変形等があるバットの使用は不可。競技部員、審判員がそれらを確認する。
- 5 金属製スパイクの使用は可とする。
- 6 サングラスの使用は指導者、選手が必要なときは大会本部または審判員が確認して許可する。
色の制限は特に定めないが、ミラーグラス（反射するもの）とメガネ枠が白色のものは認めない。
帽子のツバに乗せるのも禁止とする
- 7 投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は白色、灰色以外の1色でなければならない。
- 8 出場選手全員に胸部保護パッドの着用を義務付ける。

V 試合の準備

- 1 ベンチは組み合わせ抽選の若い番号を一塁側とする。
- 2 攻守は主将により、試合当日決定する。
- 3 シートノックは後攻より7分間とするが、都合でカットする場合もある。
- 4 シートノック時に限り背番号なしのユニホームで3人まで自チームの補助係として認める。
- 5 試合前のブルペンでの投球練習を監督及びコーチが傍らで見ても良い。

VI 試合の運営

- 1 延長戦は8回までとし、8回で決着しない場合は9回表以降からタイブレーク制を採用する。その方法は次の通りとする。
 - 1) 攻撃側は無死二塁から始める。
 - 2) 打者は8回終了時の継続打順としその回に一番最後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
 - 3) 投手は8回に登板していた投手が、投手規定に従って引き続き投げる。
- 2 全試合、4回15点差または5回以降10点差によるコールドゲームを採用する。
- 3 走者のヘッドスライディングは許される。
- 4 ボークは適用される。
 - 1) 投手板に触れている投手が、一塁へ送球するまねだけして、実際に送球しなかった場合。
 - 2) 投球が打者に当たった場合、反則投球ではなく打者は一塁へ進塁することができる。
 - 3) ボークが宣告された際に投球がなされた場合、打者がその投球に対しプレーしたかどうかにかかわらず、投球数はカウントされる。ただし、ピックオフを意図したケースで宣告されたボーク、あるいは投手が実際に投球しなかった場合は、投球数にはカウントしない。
- 5 ネクストバッタースボックスは使用できる。
(ただし、グラウンドの広さ次第でネクストバッタースボックスを設置しない場合もある)
- 6 ベースコーチは選手あるいは監督・コーチが務めることができる。両方のベースコーチを監督、コーチとしても良い。但し、ダグアウトには監督・コーチが最低1人はいなければならない。
- 7 監督またはコーチが投手のもとへ行ける回数はリトルリーグ（メジャー）部門と同一である。
- 8 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめておかなければならない。（例外：トーナメント競技規則 3.試合規定参照）
ペナルティー：打者が例外状態にない場合にバッタースボックスを出た場合、審判員は打者に警告を与える。
警告後に再度バッタースボックスを出た場合、審判員はストライクをコールする。一人の打者に

何度でもこのコールはなされる。投球数にはカウントしない。ボールデッドとはならない。

注：ストライクのコールが3ストライク目でない限り、打者はバッタースボックスに戻り新しいカウントから打撃を継続する。

9 投手の規則

- 1) 投手は一度降板し他のポジションに移っても、控え選手と交代していなければ、その試合で一度だけ再登板できる。
- 2) 投手が1日および1試合に投球できる球数は下記とする。

リトル年齢区分	13歳選手	11-12歳選手
最大投球数	95球	85球

- 3) 投手が打者と大戦中に投球制限に達した場合は、その打者が完了するか、または打席中に攻守交代となるまで続投できる。
- 4) 投手は1日に2試合以上投手を務めることはできない。
- 5) 投手はその投球数によって下記休息日（登板禁止日）を守らなければならない。

1日の投球数	66球以上	51～65球	36～50球	21～35球	20球以下
休息日	4日	3日	2日	1日	不要

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での1球目の投球数が基準となる。

注：いかなる状況下でも、投手は3日間連続して投球してはならない。

10 全員出場義務の規則

- 1) リトルリーグ（メジャー）部門と同一条件で全員出場させなければならない。
 - a. 13名以上の選手が試合に参加している場合、当日の名簿上の全選手が攻撃において少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
 - b. 12名以下の選手で試合に参加している場合は、当日の名簿上の全選手が守備において最低6つの連続したアウトと、攻撃において少なくとも1打席は試合に参加しなければならない。
- 2) 走者に対する全員出場義務を満たす前に交代した選手は、不適格な交代を行った選手とみなされる。（但し、事故等で臨時代走が起用された場合を除く）

攻撃において最低で1打席とは、選手がノーカウントから打席に立ち、凡退するか、打者走者としてアウトになるか、出塁した場合は、得点するか、そのイニングまたは試合が終了することをさす。
- 3) 本規則に違反した場合、監督は退場となり、残りの試合からも解任され、交代することもできない。（トーナメント競技規則9.参照＝2021年主な変更）

11 申告敬遠

次の場合に、打者は走者となり、アウトになることなく安全に一塁に進める権利が与えられる。

（ただし、打者が一塁に進んで、それに触れることが条件となる）

- 1) 審判員が“四球”を宣告した場合
- 2) 守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を選択することの通知は、打者がバッタースボックスに入る前でもバッタースボックスに入っている時でも構わない。

選手は、試合中に1回だけ、申告敬遠で出塁することができる。

注1：その通知は守備側チームの監督からなされなければならない。監督は“タイム”をかけ、タイムが認められたのちに打者に四球を与える旨を球審に伝えなければならない。

注2：ボールデッドとなり、塁上の走者は打者走者の四球により押し出される場合を除き進塁できない。監

督が申告敬遠を通知した時の打者が申告敬遠を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

1 2 スペシャルピンチランナー

1) スペシャルピンチランナーは1 イニングに1 回、1 試合に2 回に限り使用できる。

2) 出塁した選手は1 試合に1 回のみスペシャルピンチランナーと交代できる。

(例：初回到3 番打者が四球で出塁し、スペシャルピンチランナーと交代した。

3 回にも四球で出塁したが、初回到1 度交代しているため、その試合中はスペシャルピンチランナーとの交代はできない)

3) スペシャルピンチランナーになれるのは、その時点で打順に入っていない選手である。

(例：1 番打者として先発出場したA 選手が3 回に代打を送られ交代した。

この時点でA 選手は打撃順から外れたためスペシャルピンチランナーの

資格を持つことになる。しかし、その後A 選手がリ・エントリーして打撃順

に復帰した場合は、スペシャルピンチランナーとなる資格を喪失する。

しかしながら、その選手がさらに他の選手と交代した場合や、その他の打撃

順に入っていない選手は再度スペシャルピンチランナーに起用することができる。)

Ⅶ 降雨、日没、時間制限等で試合続行不能となった時

1 正式試合が成立する前に続行不能となった場合は、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。この場合全ての記録は有効となる。

2 試合成立（5 回完了、または5 回表完了で後攻チームがリードしている、あるいは同点）後に続行不能となった場合、勝ちが決められる場合は試合終了とする。

3 試合成立後に続行不能となったが、同点で勝ちが決められない場合はサスペンデッドゲームとする。

4 試合成立後にイニングの途中で続行不能となり、勝ちチームが決められる場合でも、先攻チームがその表の攻撃で同点とするかリードしており、後攻チームの攻撃が完了していない場合や、後攻チームがリードを奪うことができないうちに中止となった場合は、当該試合は再開しなければならない。

（注）サスペンデッドゲームはすでに終了したイニング数に関係なく、正確に一時停止された状況から試合を再開しなければならない。

5 サスペンデッドゲームとなり、その翌日に試合が再開された場合、中断時点で投手であり中断までに20 球以下の投球数の投手は、続きの試合においてその投手の投球数はゼロからカウントする。

6 中断までの投球数が21～40 球の間であった場合、続きの試合においてその投手の投球数は中断された時点の投球数からカウントする。

7 41 球以上投げた投手は規定の休息日が必要となる。

(大会規則・別表 5) M L B カップ大会規則

令和 4 年 12 月改定

I 大会規則

2023 年リトルリーグ公認競技規則、トーナメント規則およびガイドライン、本大会特別規則並びに公認野球規則を準用する。

II 登録

1. 選手登録は、学年を採用して、小学 4 年・5 年生に限定する。
ただし、チーム編成が困難な場合は小学 3 年生の登録を認める。(選手の技量を鑑みて判断すること)
連合チームの編成を認める。(1 リーグ 10 名以内、構成リーグ数制限なし)
選手は 9 名以上 20 名までの連番とする。
2. 監督およびコーチ
 - (1) 監督 1 名
 - (2) コーチ 2 名まで
 - (3) 監督、コーチは成人のものに限る。
 - (4) 携帯電話等外部と連絡する事が出来る機器類はベンチへ持ち込んで서는ならない。
3. 登録した監督、コーチ、選手のみベンチに入ることができる。

III 服装

1. 選手は全員統一した服装を着用し、ユニホームの胸にリーグ名またはチーム名の表示のあるものに限る。
なお、白のアンダーシャツは認めない。
連合リーグは統一することが望ましいが、自リーグのユニホームでもよい。ただし、背番号は「1」からの連番とする。
2. 監督・コーチの上着は、白の襟付きシャツ、スラックス（ズボン）は下記のとおりとする。
 - (1) 白、黒、紺、茶、灰、ベージュ各色系を可とする。
 - (2) 華美な色は不可。
 - (3) 全体が単一色であること。(別色のライン等があるものは不可)
 - (4) チノパンは可。
 - (5) ジーンズは不可。
 - (6) ショートパンツは可とする。
ショートパンツの色とショートパンツ着用時の靴下（ハイソックス、短いソックス両方可）の色は、上記「(1) 項」に順ずるとする。
 - (7) 監督、コーチは同一の服装であること。
 - (8) リトルリーグの指導者として節度ある常識的な服装であること。
 - (9) 靴、ベルトの色は別色でも可とする。
3. 監督・コーチの帽子は、選手と同じものまたは白で統一したものを着用する。

IV 用具

1. 捕手は試合および練習中も公認のヘルメット（耳カバー付）、プロテクター（ロングタイプまたはショートタイプも可）、マスク（スロートガードのどあて付）、ファウルカップを着用しなければならない。
2. 非木製バットは、U S A Bat 規格に合致したものでなければならない。(規則 1.10 参照)
3. 瑕疵、変形等があるバットの使用は不可。競技部員、審判員がそれらを確認する。

4. バットリング、マスコットバット、鉄棒、メガホンのベンチ持ち込みを禁止する。
5. 野球用手袋、リストバンドの使用を許可する。ただし、派手なものは好ましくない。なお、投手は使用出来ない。
6. サングラスの使用は指導者、選手が必要なときは大会本部または審判員が確認して許可する。
色の制限は特に定めないが、ミラーグラス（反射するもの）とメガネ枠が白色のものは認めない。
帽子のツバに乘せるのも禁止とする。
7. ヘルメットの顎ひもをきちんと着用することが望ましい。また、フェイスガード付き、Cフラップ付きヘルメットの使用を認める。
8. グラブのひもは、必要以上に長いものは認めない。
9. 投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は白色、灰色以外の1色でなければならない。
10. 出場選手全員に胸部保護パッドの着用を義務付ける。

Ⅴ 試合の準備

1. ベンチは組合せ番号の若い番号を一塁側とする。
2. 攻守は主将により、試合当日決定する
3. シートノックは後攻より7分間とするが、場合によってはカットする場合もある。
4. 試合前のノックの際、登録選手が不足の場合3名まで補助係を認める。
5. 試合前のブルペンでの投球練習を監督・コーチが傍らで見ても良い。

Ⅵ 試合の運営

1. 試合は6回制とし、延長戦は行わない。同点の場合は7回表以降からタイブレーク制を採用する。その方法は次の通りとする。
 - (1) 攻撃側は無死二塁から始める。
 - (2) 打者は6回終了時の継続打順としその回に一番後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
例：5番打者がその回の先頭打者なら4番の打順の選手が2塁走者となる。ルール上適格な代走を走者として出場させることもできる。
 - (3) 投手は6回に登板していた投手が、投手規定に従って引き続き投げる。
2. 全試合、3回15点差、4回10点差、5回7点差によるコールドゲームを採用する。
3. 振り逃げ規則は適用しない。
4. ベースコーチは次の条件を満たしていなければならない。
 - (1) 自チームのユニホームを着た有資格の選手と監督、コーチが務めることができる。
 - (2) 2人の大人のベースコーチが許される。ただし、ベンチに監督またはコーチが他に1人いる場合のみ、監督、コーチが務めることができる。
 - (3) 大人のベースコーチもヘルメット着用が望ましい。その場合、できる限りチームと同じものとする。
 - (4) ベースコーチは自チームの打者、走者のみに指示することができる。
 - (5) ベースコーチは同一イニング中、ボックスの移動はできない。
 - (6) コーチスボックスから出て自チーム打者および塁上の走者に指示した場合は攻撃側のタイム数に数える。
 - (7) 相手に対しスポーツマンシップに反する言動があった場合、1回目はベンチに戻す。当該者はその試合中コーチスボックスに入れない。2回目は監督が直ちに退場となる。
5. ベンチ内の監督およびコーチは、みだりにベンチを離れることはできない。
6. 攻撃側がタイムをとり、選手に指示する回数は1イニング1回である。
なお、守備側のタイムのとき、攻撃側の監督、コーチが選手に指示する場合は回数に数えない。

ただし、守備側の指示より長い時間は認めない。

7. 監督、コーチが、1 イニングに同一投手のもとへ1 度行くことができるが、2 度目にはその選手は投手から退かなければならない。また1 試合に同一投手のもとへ2 度行くことができるが、3 度目にはその選手は投手から退かなければならない。監督、コーチが指示する場合は、マウンドで行うこと。この時に捕手および内野手が集合しても良い。監督、コーチおよび選手はスピーディーに行動すること。
8. 試合中に内野手がマウンドに集まることは規制しない。
ただし、試合の流れや頻度に応じて審判員が認めない場合もある。
9. 投手のウォームアップ時に、打者などが打席付近に近づき、タイミングを測る行為を禁止する。
10. 走者やベースコーチなどが捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
もしこのような疑いがあるとき審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意を与え止めさせる。
11. ネット裏または観客席から相手リーグの情報を伝える行為を禁止する。
12. ベースコーチなどが、打者走者（走者）の触塁に合わせて「セーフ」にジェスチャーとコールをする行為を禁止する。
13. 臨時代走
 - (1) 打者および走者が、事故等で走者になれない場合、臨時代走を認める。
なお、代走者は投手と捕手を除く打順の一番遠い選手とする。
 - (2) 攻撃が終わっても前記の選手が速やかに出場出来ない場合は、選手交代となる。
 - (3) 頭部に投球および送球を受けた時には、必ず臨時代走を出すこと。
14. 走者が帰塁する場合を除きヘッドスライディングをした場合はアウトになる。
15. 不正投球が発生した時は走者を進塁させず、投球しない場合もボールを宣告して投球数に加算する。
16. 試合開始、終了の挨拶の時に監督は選手と一緒に整列する。コーチはベンチ前に整列する。

VII 監督・コーチの退場

1. 次の場合、大会本部および審判員は監督、コーチ、選手を退場させる。
 - (1) 自軍のベンチおよび応援席の中から、相手リーグおよび審判員に対し暴力、暴言を吐いた場合、監督および当該者を退場させる。
 - (2) 審判員の判定および指示に従わない場合、監督および当該者を退場させる。
 - (3) VIの10、11で、同様の行為を再度審判員が見つけた時は
 - ① 攻撃側監督と当該者はその試合から退場となる。
 - ② 打者は安打、守備側失策等で塁へ出た場合は打撃を取り消し、打ち直しとする。
 - ③ 打者が打撃を行いアウトになった場合は、アウトを有効とする。
この時に走者が進塁した場合（犠打等）は打撃前の投手が投球当時の占有塁へ全ての走者を戻す。

VIII 降雨、日没、時間制限等で試合続行不能となった時

1. 正式試合が成立する前に続行不能となった場合は、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）とする。
この場合全ての記録は有効となる。
2. 試合成立（4 回完了または4 回表完了で後攻チームがリードしている、あるいは同点）後に続行不能となった場合、勝ちが決められる場合は試合終了とする。
3. 試合成立後に続行不能となったが、同点で勝ちが決められない場合は、サスペンデッドゲームとする。
4. 試合成立後にイニングの途中で続行不能となり、勝ちチームが決められる場合でも、先攻チームがその表の攻撃で同点とするかリードしており、後攻チームの攻撃が完了していない場合や後攻チームがリードを奪うことができないうちに中止となった場合は、当該試合は再開しなければならない。

5. サスペンデッドゲームとなり、その翌日に試合が再開された場合、中断時点で投手であり中断までに 20 球以下の投球数の投手は、続きの試合においてその投手の投球数はゼロからカウントする。
6. 中断までの投球数が 21～40 球の間であった場合、続きの試合においてその投手の投球数は中断された時点の投球数からカウントする。
7. 41 球以上投げた投手は、規定の休息日が必要となる。

IX 特記事項

1. 「全員出場義務の規則」と「スペシャルピンチランナー」は、採用しない。
2. 投手の規則

- (1) 降板した投手はその試合では投手に戻れない。
- (2) 投手は 1 日に投球できる投球数は下記のとおりとする。

リトル年齢区分	11 歳選手	9-10 歳選手	8 歳
最大投球数	85 球	75 球	50 球

- (3) 投手が打者と対戦中に投球制限に達した場合は、その打者が完了するか、または打席中に攻守交代となるまで続投できる。
- (4) 選手は 1 日に 2 試合以上投手を務めることはできない。
- (5) 休息日

1 日の投球数	66 球以上	51～65 球	36～50 球	21～35 球	20 球以下
休息日	4 日	3 日	2 日	1 日	不要

休息日はいずれも最終打者と対峙した時点での 1 球目の投球数が基準となる。

注：いかなる状況下でも、投手は 3 日間連続して投球してはならない。

- (6) 投手が 41 球以上の投球をした場合、その日は捕手を務めてはならない。
注：投手が打者に対しての間に、投球数が 40 球に到達した場合、投手は以下のいずれかに至るまで投げ続けることができ、その日その後捕手としてプレイできる資格を有する。
 - a. その打者が出塁する
 - b. その打者がアウトになる
 - c. 第 3 アウトが成立し、そのイニングが終了する
 - d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

投手は次の打者へ投球する前に降板するか試合が終了すれば、その投手はその後捕手としてプレイすることができる。

- (7) 試合で 4 イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。
注：4 イニングはアウト数（12）ではなく、守備についたイニング数である。
また、4 イニングは 1 試合での数であり、2 試合行った場合は合計イニング数ではなく、それぞれの試合でのイニング数とする。

- (8) 捕手を 3 イニング（以下も含む）務めた選手が投手に交代し、同日 21 球以上投げた場合、その日は再度捕手に交代してはならない。

例外：投手が打者と対戦している時に投球制限数の 20 球に到達した場合、以下の条件で投手は投球を続け、その後捕手への交代が可能である。

- a. その打者が出塁する。
- b. その打者がアウトになる。
- c. 第 3 アウトが成立し、そのイニングが終了する。

d. その打者が打席を完了する前にその投手が降板する

3. 申告敬遠

次の場合に、打者は走者となり、アウトになることなく安全に一塁に進める権利が与えられる。

(ただし、打者が一塁に進んで、それに触れることが条件となる)

1) 審判員が“四球”を宣告した場合

2) 守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を選択することの通知は、打者がバッタースボックスに入る前でもバッタースボックスに入っている時でも構わない。

選手は、試合中に1回だけ、申告敬遠で出塁することができる。

注1：その通知は守備側チームの監督からなされなければならない。監督は“タイム”をかけ、タイムが認められたのちに打者に四球を与える旨を球審に伝えなければならない。

注2：ボールデッドとなり、塁上の走者は打者走者の四球により押し出される場合を除き進塁できない。監督が申告敬遠を通知した時の打者が申告敬遠を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

× スピードアップ

1. 投手はボールを受けたら速やかに投手板に付いて捕手のサインを受ける。
2. 捕手は受けたボールを速やかに投手に返球して、投手にサインを送る。
3. 捕手はホームプレートより前に出ないで野手に声をかける。
4. 内野手はボール回しを定位置で行う。
5. 内野手は外野手からのボールを定位置から投手に送球する。
6. 打者は打者席を外さずにベンチのサインを見る。
7. ベンチからのサインは短くする。
8. 守備につくとき、ベンチに戻るときは必ず走ること。
9. 審判員はスピーディーな試合を常に心がける。

×I 補貝リ

1. ベンチ内のプレイについて
 - (1) 常設の正規の球場は競技規則通りである。
 - (2) 仮設のベンチは危険性があるので、ボールデッドとする。
2. 選手からのハーフスイングのリクエストを受ける。
3. 全選手がファウルラインを越えた時に、アピール権は消滅する。
4. 飛球をデッドライン、ホームランライン内で完全捕球したと審判員が認めた場合、選手が捕球後場外に出てもアウトである。なお、野手がボールデッド地域に倒れ込んだ場合は、ボールデッドとなり、走者に1個の進塁を認める。
野手がボールデッド地域に踏み込んで倒れなかった場合はボールインプレーとなる。
5. ネクストバッタースボックスは作らない。次打者はベンチ出入口付近に待機すること。
6. 監督・コーチがグラウンドに入るときは、コートを脱ぐこと。
7. ホームランを打った選手をたたえるときは、派手にしないこと。
8. 選手はユニホームをきちんと着用すること。
9. グラウンド（ベンチを含む）内は禁煙である。
10. メガホン等による指示、鳴り物の応援は禁止する。
11. 携帯電話の持ち込み、コーチボックスの選手のコールドスプレー持参を禁止する。
12. 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめて

おこななければならない。(例外：トーナメント規則 3.試合規定参照)

ペナルティー：打者が例外状態にない場合にバッタースボックスを出た場合、審判員は打者に警告を与える。

警告後に再度バッタースボックスを出た場合、審判員はストライクをコールする。

一人の打者に何度でもこのコールはなされる。投球数にはカウントしない。ボールデッドとなるが、走者は進塁しない。

注：ストライクのコールが3ストライク目でない限り、打者はバッタースボックスに戻り新しいカウントから打撃を継続する。

(大会規則・別表 6) ティーボール北関東連盟大会規則

令和 4 年 12 月改定

I 大会規則

2023年リトルリーグ公認競技規則、トーナメント規則およびガイドライン、本大会特別規則を準用する。

II 球場

1. 外野フェンスはホームベースより4.5メートルとする。
2. バッターサークルは半径3メートルとする。
3. ファウルラインは半径7メートルとする。
4. ピッチャーサークルは半径1メートルとする。
5. バッターボックスはホームベースの半分(21.6cm) 捕手よりに移動する。
6. 捕手の守備位置は一塁・三塁のファウルライン延長線上のバッターサークルにポイントして指定する。
7. 一塁ベースはダブルベースを使用する。
8. その他はリトルリーググラウンドと同一とする。

III 登録

1. 選手は小学3年生以下とし、秋季大会からは2年生以下とする。
2. 選手登録数は、20名以下とする。
3. 指導者は成人で監督1名・コーチ4名以内とする。
4. 複数リーグの混成チームも登録できる。

IV 服装

1. 監督・コーチ・選手の服装はスポーティーなものであれば自由とする。
2. 選手は重複しない背番号を付ける。
3. ベンチに入る者は、必ず野球帽を着用すること。

V 用具

1. 試合球はティーボール公認球(ゼット製)を使用する。
2. バットは、USA bat規格に合致したもの、またはSGマークがあるものとする。また、大会本部が承認したバットも使用することが出来る。
3. 捕手の保護具はヘルメットのみを着用する。
4. 打者、走者はヘルメットを着用しなければならない。
5. 投手に野手と同様に手袋、リストバンドの使用を認める。

VI 試合の運営

1. 試合開始前に各連盟制定の打順表を本部席に提出する。
2. 試合はリーグ戦の場合6回または4.5分とし、同点の場合は引き分けとする。
また、トーナメント戦の場合も同様とするが、同点の場合はタイブレーク制を採用する。その方法は次の通りとする。
 - 1) 攻撃は無死二塁から始める
 - 2) 打者は終了時の継続打順とし、その回に一番後に打順が回ってくる選手が2塁走者となる。
3. シートノックは後攻より5分間以内とするが、都合でカットする場合もある。
4. コールドゲームは適用しない。

VII 競技方法

1. 攻守は3アウトまたは打者一巡（9名）で交代する。
2. 1イニングで9人目の打者のときはアウトカウントを2アウトとする。
3. 守備のときに外野に2人の指導者が入ることができる。
4. ベースコーチは2人とも指導者とする。
5. ティースタンドにボールをセットするのは球審が行う。
6. 攻撃側の監督またはコーチは球審の横にいて、ティーバーの調整、打者への指導をすることができる。
7. 投手は球審の「プレイ」の合図があったら速やかに、投球動作（偽投）を行う。また、打者は投手の投球動作終了後、直ちにボールを打たなければならない。
8. 投手は打者が打つまでは、ピッチャーサークルから出てはいけない。
9. 投手が投球姿勢に入ったら打者は軸足を移動してはいけない。
10. 打者はティースタンド上のボールを「フルスイング」で打つこと。
11. 三振は適用しない。
12. 走者は打者が打つまで離塁できない。（赤いハンカチルールを適用する）
13. タイムの回数に制限はないが常にスピードアップを心がけること。
14. ヘッドスライディングは進塁、帰塁方向ともにアウトになる。
15. 抗議は認められない。
16. ボールインプレーの悪送球でアウトにされる危険を覚悟のうえで進塁することが許されるが、許される進塁は1個までである。

VIII 審判上の注意

1. 外野に飛んだボールが内野内の野手に戻った時点でただちに審判員は「タイム」を宣告し「ボールデット」にする。
ただし、中継プレイ中の時や野手が捕球状態に無いときはプレイを続ける。
また、審判員の「タイム」宣告時に塁間にいた走者は占有した塁へ戻す。
2. 内野内の打球によるプレイは、プレイが連続しているか否かを見極めて「タイム」をとる。
3. 打球が7メートルのファウルラインを越えたとき、またはライン上るときは全てインプレイである。
また、ファウルラインに届かないゴロ・飛球は打ち直しになる。
 - 1) このエリア内で飛球を捕球してもアウトにならない。
 - 2) ファウルグラウンドも7メートルのラインがあるものとして扱う。
4. フルスイングしない打球はファウルボールとし、打ち直しとする。
5. フルスイングしてファウルラインを越えたゆるいゴロの打球もインプレイである。
6. インフィールドフライは適用しない。
7. 一塁のダブルベースは1つのベースとして扱う。従って野手および打者走者はどちらに触塁してもかまわない。
ただし、打球の判定は、野手用ベース（インフィールド内のベース）で行う。
8. 走者がホームインするときや、本塁でプレイがあるときはティースタンドを素早く移動する。
9. ティーボールの試合は、タイム中でも「アピール」を受ける。

IX 補貝リ

1. 安全
 - (1) ベンチには救急箱を用意し、選手の安全には万全の体制を整えておくこと。
 - (2) スポーツ保険には必ず加入のこと。
 - (3) ベンチ内での素振りを厳禁とする。
2. 主催者は大会中の負傷に応急処置を施すが、それ以上の責任は取らない。

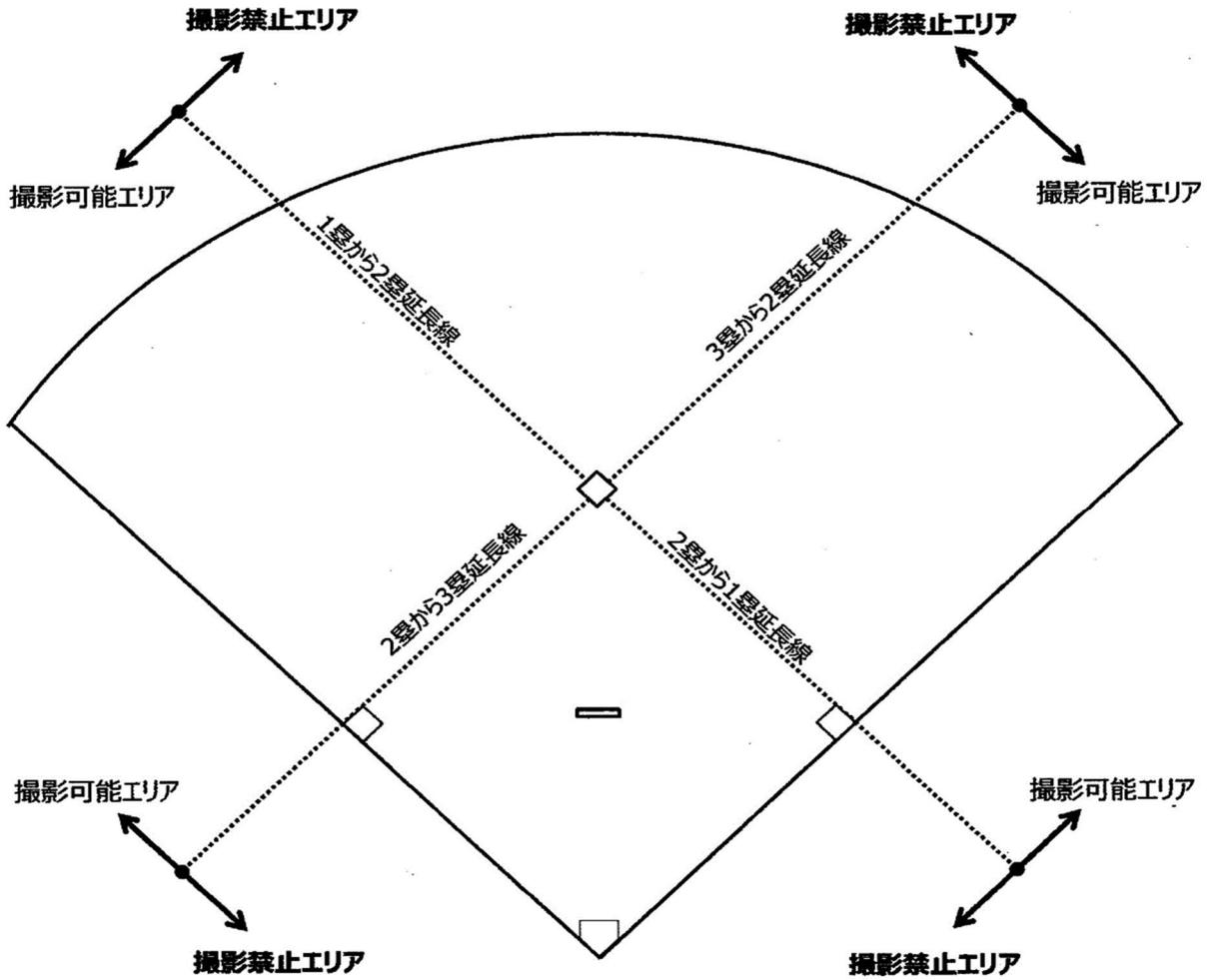
(大会規則・補足) 大会規則補足

- 1 全てのリトルリーグ関係者は開幕式、各種大会の際、I Dカードを着用すること。
- 2 連合リーグによる参加可能大会においては、理事会了承後、理事長・日本協会の承認を得て可能となる。
- 3 ベンチ内のプレイについて
 - 1) 常設の正規の球場は規則通りとする。
 - 2) 仮設のベンチは危険性があるので、ボールデッドとする。
- 4 選手からのハーフスイングのリクエストを受ける。
- 5 全選手がファールラインを越えたときに、アピール権は消滅する。
- 6 飛球をデッドライン、ホームランライン内で完全捕球したと審判員が認めた場合、選手が捕球後場外へ出てもアウトである。但し、場外で選手が倒れた場合もボールデッドとなり、走者に1個の進塁を認める。
- 7 監督、コーチがベンチからグラウンド、コーチスボックスに入るときは、グラウンドコートを脱ぐこと。
- 8 ホームランを打った選手をたたえるときは、派手にしないこと。グラウンド内でのダンス等は禁止する。
- 9 指導者および選手共に携帯電話および通信機器(PC、モバイル PC、Pad 等)の持ち込み、コーチボックスのコールスプレー持参を禁止する。
- 10 メガホン等による指示、鳴り物の応援は禁止する。
- 11 打者はバッタースボックスに入ったのちは、その打席が終了するまで少なくとも片足はバッタースボックス内にとどめておかなければならない。
- 12 禁煙に協力願います。(電子タバコも含みます)受動喫煙防止の為、グラウンド内はもとより、バックネット裏本部席、ベンチ裏、応援席、は全て禁煙とし、その旨分かりやすい場所に大きく表示願います。各リーグの練習場所、球場への移動等選手と行動を共にする全ての場所を対象と上記の場所から離れ、選手たちから最も離れた場所に喫煙場所を設けてください。
- 13 リトル、マイナー部門ではグラウンド内でのネクストバッタースサークルは作らない。安全な場所に素振りゾーンを設営する。(グラウンドにより設営できない場合もある。)
- 14 球場内での必要以上に騒ぐことは禁止 (ルールブック付録 B の遵守)
- 15 コーチスボックスはファールラインから 3m以上離すことが望ましい。
- 16 ネット裏または観客席から相手リーグの情報を伝える行為を禁止する。
- 17 指導者がコーチスボックスに入る場合は往復駆け足が望ましい。
- 18 捕手から投手・野手へのブロックサインの禁止 (座っていても立っていても)
- 19 監督、コーチは、投手のウォームアップの相手を行ってはならない。
- 20 試合中の撮影禁止エリア *次頁撮影エリア参照
 - ① 内野側：2 塁ベースから 1 塁ベース及び 3 塁ベースの延長線上のホームベース側の範囲は、撮影出来ない。
 - ② 外野側：1 塁ベースから 2 塁ベースの延長線上及び 3 塁ベースから 2 塁ベースの延長線上の間の範囲は、撮影出来ない。
- 21 試合中の禁止事項：試合進行の協力をして頂いている方の、試合中の応援行為は出来ない。
(アナウンス担当、ベンチ付き添い担当、スコア板のスコア更新担当 等)
- 22 試合後の禁止事項：試合中のビデオ撮影動画をみて試合中及び試合後に、審判の判定及びプレイの内容に関して意見を言う事は出来ない。
- 23 グラウンド提供について：メジャーの場合は規格を満たしたグラウンドとする。
 - ① 主管エリア長は、年初に大会初日のグラウンドをエリアにて決定する。提供グラウンドが足りない場合は、主管エリア長が他エリアに協力依頼し決定する。
 - ② 2 日目は、初日提供リーググラウンドを優先して使用する。希望が重複した場合は抽選とする。

- ③ 3日目以降は上記②と同様とする。
- ④ 上記①から③に該当がない場合は、提供希望リーグのグラウンドとする。希望が重複した場合は抽選とする。
グラウンド提供がない場合は、主管エリアが責任をもって提供する事。

以上

撮影エリア



撮影禁止エリアでの負傷に应急処置を施すが、それ以上の責任は取らない。 以上

2023年 リトル選手登録年齢早見表

NPO 法人リトルリーグ北関東連盟 競技部 2023年1月作成

リトルリーグにおける選手の年齢は、国際登録の関係から下記のように区分されます。

各種登録書類に年齢を記入する際は、この早見表を確認の上、ご記入下さいませようお願い致します。

なお、連盟およびブロックが主催する大会は、理事会の承認を得て登録選手の年齢枠を変更する場合がありますのでその指示に従ってください。

2023年リトルリーグ年齢表

H23	⇒誕生年(和暦)
2011年	⇒誕生年(西暦)
12	⇒リトル年齢

凡例：

学年	誕生月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	(4/2~4/30)												(3/1~4/1)
小学2年	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H27	H28	H28	H28
	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2015年	2016年	2016年	2016年
	8	8	8	8	8	8	7						
小学3年	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27	H27
	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2014年	2015年	2015年	2015年
	9	9	9	9	9	9	8						
小学4年	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H25	H26	H26	H26
	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2013年	2014年	2014年	2014年
	10	10	10	10	10	10	9						
小学5年	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25
	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2013年	2013年	2013年
	11	11	11	11	11	11	10						
小学6年	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H23	H24	H24	H24
	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2011年	2012年	2012年	2012年
	12	12	12	12	12	12	11						
中学1年	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H22	H23	H23	H23
	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2010年	2011年	2011年	2011年
	13	13	13	13	13	13	12						

以上

変 更 届

NPO 法人リトルリーグ北関東連盟

埼玉エリア

競 技 部 殿

年 月 日 の試合において

監督、コーチ、引率責任者の変更を下記のとおりお届けします。

	監 督	コ ー チ	引率責任者
登 録 者 名			
変 更 者 名			

年 月 日

リーグ名

会長名

Ⓜ

※会長名は会長・副会長・事務局長名印（三役）